

# 幼兒教育

號二十第一 卷二十二 第  
行發日五十月二十年一十正大

## 目 次

子供の經濟心の養ひ方	倉橋惣三
家庭に於ての子供に關した節約に就て	塚本はま
二葉保育園の廢物利用	記 者
異常兒の身體的特徵に就て(つ・き)	寺澤嚴男
おはなし	新城よし子
託兒所の教育的意義	三好豊太郎
消費展を見る	K.
謹 告	H.
獨逸フレーベル會寄附金募集	

會 協 園 稚 幼 日 本

## 會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前は初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたう存じます。例へば初め幼稚園にて御入會になり、後個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様に願上ます。整理上甚だ煩難致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しま

すから確實に御納付下さいまし。向後萬一御不納久しきに至ります場合は乍遺憾雜誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願

ひます。  
○萬一本誌不着等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

## 本誌定價

一冊(郵稅共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢  
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割增)

## 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十一年十二月十二日印刷  
大正十一年十二月十五日發行

編輯兼發行者 東京市外中野町千光前三〇三〇番地  
倉 橋 悅

東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印 刷 者 柴 山 则

東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印 刷 所 合資会社 杏 林 常 常

發行所 日本幼稚園協會

# 幼兒教育

第二十二卷 第十二號

大正十一年十二月十五日發行

## 子供の經濟心の養ひ方

東京女高師教授 倉橋惣三

○

一口に經濟と云てもそれは一面から云へば、無駄には使はないと云ふ事と他の一面から云へば、よく使はうと云ふ事の二つになります。無駄に使はないと云ふのは即ち消極的の方面であり、よく使うと云ふのは積極的の方面であります。昔から我國の家庭におきまして子供に養はれて來た經濟心をどちらかと見ますと主として前者即ち消極的の方面であります。半紙を切て遊んで居る子に向て「一枚使てはいけない、今は半分にして後半分はとつてお置きなさい」と云ひおばさんから一圓のお小遣をもらつた時で居りました。經濟と云ふ事が消極的の方面丈行はれ

ればそれで良いと云ふのならこれまでの儘でよいのであります。が積極消極の兩方面を備へたものとして然らば積極的方面はどう養はれて來たかといふ事は問題であります。今儉約した半紙半枚なり。紐三寸なり後役立つ(積極)様になるまでには可成時間かかる事であります。今とつて置いた油紙半分が半年先へ行て役に立つ事もありませうし一年後になつて役に立つ事もありませう。消極的の經濟と積極的の經濟とが時間の隔りなく續いて起るこ云ふ事は事實としては滅多にない事であります。今之を取て置けばいづかは役に立つ、五年先か十年先かしらないが兎に角いつか役立つ事を成人は考へる事が出來ますが子供には長い時の経過を考へる事は出來ませむ。

今日の前で「しまつて置く事が良い事だ」と云はれるからするけれども子供にはそれが何時役に立つと云ふ事では考へられません。儉約して、しまつて置いた物なりお金なりが思ひ掛なく役に立た時成人なら「あの時我慢して儉約しておいてよかつた」と云ふ事が五年たつた後でも解りますが子供の場合はさうではありません。或人は過去、將來、といふ事が子供にも解り得ると申しますが事實それはむづかしい事であります。儉約した時の我慢と役に立た結果とは少しも子供には關係がありません。それ故目の前文消極的に儉約させても、子供にどうては詰らないしかたであります。が今日一般の家庭なり社會なりで子供に對して養はるゝ節約の方法はすべてかういふしかたであります。

○

節約は經濟事實であつて、それは合理的な生活であります。合理的な生活である節約といふ事を算盤ではちけるこの節約心を子供に與へるのにこれまでに善惡の道徳問題を持ち出しました。消極的に儉約し積極的に役立たせる節約の生活は道徳上善なるが故にすべきであると云て合理的な生活を無理に道徳へ結ぶべきであります。

びつけて養はるする方法では、いつまでたつても、經濟心が合理的になります。

經濟心は合理的なものであると云ふ事を根本にして考へて見ますと、此經濟心即ち節約を子供に養ひますには、其子供一人々々の年齢に從て其年齢に相當した或時間の後に於て、必ず積極的の經驗を伴はせると云ふ事が行はれなければなりません。或場合にはわざわざ其機會を作てまでも経験させる必要があります。半紙半分を使ひ度いのを我慢してとつて置いたら其我慢した氣持の残つてゐる中に、とつて置いた半紙半分の役に立つ様實施する機會をあたへて消極的の儉約が積極の役立つに至るまでの一つの連絡ある生活を子供に経験さすべきであります。

これは消極積極の兩者をそなへた節約の方程式の様なものです。銀行のお勧めに毎日いくらいくらいくら貯へれば五〇年の後にはどれ丈になると云ふ事がありますが、それに對して吾々ですら五十年先きもの事になるごキチツと頭にはあひませむ。「お前のお金は銀行にいくら／＼積んであつて毎日殖えて行くんだよ」と云て聞かしても、銀行がどういふ制度だからどんなにお金がたまるのか、將來といふ言葉も時

日も知らないあの子供の心には決してピタツとは來るものであります。我慢して半分だけ残した五十銭だつたら、その我慢した氣持のぬけないうちに残りの五十銭を積極的に使はせる方がよいのであります。「あゝよかつた、さつき使はないで良い事をした」と子供が感じて、はじめて節約が子供の心に徹底したわけであります。「ほんとうに良かつた」と思ふ積極的方法の結果を味はせないでは、節約は意義をなしませむ。這入た金をどん／＼銀行へ預けてしまふのは儉約の本質ではありません。それは「ずる」です。

○

ためるといふ事は子供の好きな事であります。外を遊んで歸て來た子を夜着がへをさせる時、その袂から、ポケットから、腰あげから、拾ひためたどんぐりや木の葉の落ちることは我々の常に知てゐる事であります。しかし枕下に並べて眠たどんぐりや木の葉があくる朝になつて取りすてゝあつても、それを惜しいとは思ひません。時には置いといた事すら忘れてゐることもあります。これは決して貯蓄儉約の意味ではありません。「ためる」といふ事は子供の

心のくせであります。「ためる」といふ事それ自身ではねうちはありません。「ためる」と云ふ子供の心持はゾウツクバリでもなければ又儉約だと云て賞讃すべきものでもありません。そこらに木が生え石が轉がつてゐるのと同じ事柄であります。この心を利用して出来た時はじめてそれがよくなるのであります。

「ためる」と云ふ本能的な心を有意に使ふと云ふ事と儉約といふ事とは全く違ひます。

儉約はそれ自身大變良い事であると教科書などには説かれてゐる様であります。賞讃措かざるでもなく、と申して吝嗇だと云て打消すべきでもありません、これはありのまゝな人の心であります。これまで儉約は道徳上の善として獎勵されてまゐりましたが事實の経験からみますと始があつて終のない状態であります。封建の昔に或る人が大變な困難をきりぬけ苦心して勤勉して遂に大金を貯めたと云ふ、道徳上丈の儉約は、現代に於ては何もならない事であります。

儉約は道徳上の事ではありません。合理的生活であります。故に必ず其結果に到達しなければ一儉約した金がどう有益に使はるゝかと云ふのでなければ

一無意義であります。

それで子供に節約の心を養ふのに必ず結果を味はせよ申しますのはこの意義から押した事で合理的生活のはじめ丈興へて結果を顧ない云ふ事は片手落ちの事になります。

○

なほも一つ外の事は、人間の心持ちには合理的にする外に、何だか其物自身が、さう亂暴には使へないと云ふ様な氣持があります。すべての物を「勿體ない、勿體ない」と云ふあの氣持であります。「お米が勿體ない」と云ふ、それは實物を尊重すると云ふ一種の宗教味をおびた事になります。又それが迷信的の方になつて「御飯をこぼすと目がつぶれる」と申しますがそれは子供の恐怖心を用ひた方法であります。これは我國在來の儉約の方法としては屢々つかはれて居りました。しかし「目がつぶれる」と云はれてもほんとうにさうなるわけではありません。つぶれるよと云てきかしたお婆さんの方がよくみえない様なことであります。この様な恐怖を本とした自制は人間教育の根本の道ではありません。

子供が自然に持てる本能としての恐怖はしかた

がありませんが、恐怖心を利用すると云ふ事はつまらない事であります。理屈でないものには方法は適用されません。感じは方法には行きません、また云ひきかすのでも爲て見せるのもありません。我々自らが、あらゆる自然物に對する、あらゆる愛憎の感じそのものであります。

子供に經濟心をどう養はふかと云ふ時に私はこの二つの方法から行かうと思ひます。

生活の行爲は生活方法に於ける合理的事實で出来ますが、も一步深いものはそれ丈では出來ません。子供の教育といふ大きい點から見ますと、儉約など云ふ事は小さな部分にすぎません。儉約して暮し得ても暮し得なくとも大した問題ではありません、それは所謂得な人、と損な人、との違ひであります。人間の價値の問題から云へば大した事ではありません。子供の儉約心を養ふ時には、儉約を通して、ある大きいものを與へるといふのではありますまい。儉約を小さい事實にとつて我子を小さく育てるか、その事實を通じて我子を大きく育てるかと云ふ事は教育の問題でありますが儉約を通してある大きな人間としての教育をすると云ふ意味から私はたゞ

合理的事實の生活だけではすまないと思ひます、も  
一つ「ありがたい」と云ふ、あの感じが大切だと思ひ  
ます。

## ○東京市校外兒童保護會の活動

短い時間に、結論だけをのべた様なものであります  
が、要するに、子供に經濟心を養ふ方法として一  
つには合理的事實に從て儉約といふ消極的事實の後  
に必ず「役に立つ」と云ふ積極的結果を伴はすと云ふ  
事。然しそれ丈でなくも一つこの經濟心を通してあ  
らゆる物、それ自らに對しての尊重、愛惜の心「あ  
りがたい、勿體ない」と云ふ感じを養ふ事が、人間  
の教育といふ大きい意味からして大切な事であると  
思ふのであります。（講演筆記大要）

去月二十七日から五日間を、同會では「兒童保護  
宣傳デー」として各所に有益なる講演會をひらき、  
ひろく東京の子供一般の爲に保護宣傳の聲を大き  
くされました。

街頭では自働車の戒笛におびやかされ、小路の角  
では自轉車におどろかされる不幸な都會兒童は唯一  
ののがれ場である小公園でさへも、中、青年に防げ  
られて居るのを、屢々見うけます。  
文化の恩澤をあべこべに受けた状態にある、一般  
都會兒童の爲めかかる宣傳は實に大なる力であり喜  
びあると信じます。

さびしさにたへたる人の

またもあれば

庵ならべむ冬の山さと

（山家集より）

# 家庭に於ての子供に關した節約に就て

青山女學院教頭 塚 本 は ま

多勢の子供を育てゝまるりました經驗から私はただほんの自分の子供の爲に種々考へました事をお話し致しませう。

## 學齡前の時代

よく世間では、「子供が着物をよごす」と由します

がそれは子供が丈夫でいたづらがはげしいからなうでそれを汚さない様にと云ふのは云ふ方が無理なのでございりますから、私はよどしてもすぐ洗へる方法を用ひました。勿論此頃はエプロンはどなたでもお用ひになる事と思ひますが、その下に「上つぱり」を著せます。この「上つぱり」も單衣になさる方もございますが、どうも下であげがゴロ／＼したり、ひつけられたりして遊びにくくあり着心地がよくなない様に思ひますので、「上つぱり」は裏表とも洗濯のきく布地で造たれにして、下着には少し古いのでも柔かい地質を選んで、あげや何かもおろしてしまつて著せ

ます。たゞへば幼稚園に通ひはじめ頃の子供で申しますと「上つぱり」は前申した様な裏表とも洗濯のきく布でこしらへ下には一つ身の小さくなつたのを、肩あげや腰あげを下して著せますとゆき丈もそのまゝ大方間に合ひ子供もあそび易くてよい様でござります。

どこの地方でも一般にと希むのはむづかしい事でございませうが、今は色々の方面から子供の衣服としてまづ一番よいのは洋服でございませう。又日本でも西洋でも子供の大きくなるのは同じ事であつてどちらのお母さん達も、どういふ様にして衣服を大きくつくらうかと云ふ事を考へて居ります。それについて西洋のお母さん達は色々面白い工夫をされて居ります。

御参考の爲にあげてみますと子供はまづ目立て大きくなるのが背丈でござりますから初めての時には机の、みかへしをのばして裏へ地の布を補ひます。

次の時にはスカートを上下に切つてその間にレースを入れるとカリボンを入れるとか又他の細い有りきれでもあればそれを入れたりして、それを一段又は二段も致しますと優に五寸の丈はのばせることになります。

叔丈の次には胴廻りでございますがそれも胴のバ

ンドの處を左右に切つて（一處でたりなければ幾所にも）其間へ違た布を調和よく（新しいのをわざわざ買ひませんでも大人の服の裁ちはぢでも、何なりと有り合せた布をして）縫ひ込めば思ふ様にのばす事が出来ます、その上工夫次第で却て面白いものが出来ます。

次に首の廻りの小さくなつたのをどうするかと申しますと、肩明きから袖口へかけて真直に、「ゆき」の處を切つてしまひます、そしてそこへ、夏ならばレース、冬ならばビロード又は斜布其他何なりと有布を利用して適宜に縫ひ込みますと、首の廻りと、袖巾と両方を一度に大きくする事が出来ます。

洋服だからと申して新しい布でなければ裁てないと云ふのではなく、あちらのお母さま達は、お父さんのズボンの破れた處をきり取つたり、古い上衣の

丈夫さうな處をよつて切り取つたり、そしてその布を上手にミシンではぎ合せて身頃を造り、カラやカフスにビロードをつけるとか有合せの新しい布を使用するとかして容易にそして巧みに節約利用をされて居ります。そしてかうした服の上には、やつぱりエプロンをかけます。

それから特に食事の時には、それは私が子供にさせたのでございますがナップキン代りとして、手拭を長いまゝ片端だけを首の形に切りぬいて首の後で一寸ボタンで止めるようになつたのを用ひさせました。

手拭で致しますと洗ふには容易であり、之を食事の度毎にテーブルの上に備へて置きますと著物をよござぬ上に清潔でもあると思ひます。

又子供は殊にハンカチーフを落し易く、ポケットに入れたつもりで何時の間にか飛出して無かつたり致しますのでそれにはエプロンのポケットに小さい「ち」をつけておき、ハンカチーフには長いテーブルを結びつけて（顔や頭の汗を拭いたり、鼻をかむのに充分届く長さの）此のテーブルをポケットの「ち」に、しつかり結び付けて、テーブルごとハンカチーフをポケットに入れさせますと滅多に落す憂はありません。

落さないと云ふ事は經濟的によいばかりでなく、ないから他人のを一寸借りるといふ様な事がなくて衛生上にも整頓の上にもよいと思ひます。

それから子供には筆箋の一番下の引出しが興へて、色々な洗濯した物を一齊、足袋が何枚、ハンカチーフが何枚と數をして渡して自分で其の中へ仕舞はせます。自分で自分の始末を致しますから、多勢の世話に人手がはぶけます。手のはぶけるのは、やはり節約の一つであります。たゞ筆箋にかぎらず家庭内の、抽出し類の何でも一番下のものを子供の分として置きますと、子供には却て出し入れが仕やすくてよいと思ひます。そして各自に必ず名を記して置きますと、私のように忙しく外出勝ちであつても、子供達が自分で自分の物の整理をよく致します。

經濟思想と云ふまでの事ではなくとも何事も子供自身で事をさせるように習慣つけることをつとめます、たゞへば、ハンカチーフやはな紙を渡しますのにも、毎朝出がけに渡すのではなく、一週の始に、何枚何枚渡しますよと云て渡しますと、なくした時にも、「月曜に何枚いたゝいたものが一枚たりないから」と云て、はつきり報告するようになり、何時、な

くなつたか何枚なくなつたかもしらずに居るご云ふ様な事はなくなります。はな紙にしても、一日分づつに摺んで六たゞみを渡して置きますと自分でそれを整理して使ひます。

又まる四歳、丁度幼稚園に行きはじめる頃から、「お靴磨き」と云ふ事をさせます。子供は、わざと水溜や道わるには入りたがる癖がありますが、それが自分で磨くとなると、大變よごし方がちがひ、いたみ方も違ふわけでござります。又みあげの靴の紐も小さい時から獨りで結ばせますが、時には兄さんと、どつちが早いなど競走したりして、面白い中に、時間の經濟といふ事の習慣も作られます。

### 小學校時代

經濟思想と申しますが、労力や金の價値といふ事については小學校時代になつてから考へさしました。たゞへば「此郵便は出してもよいのだが、近い所だから歩いてお届けしていらつしやい、そしたら其の切手代の三錢を貯金出来るでしょ」と云ふ様にして主はじめは、小包とか手紙とか又昔の事で鐵道馬車時代から「母さんは他にも御用があるので

馬車で行きますが、あなたはさほど遠くもなしするから歩いてごらんなさい両方から廻りつこをしませう」、といふ様にして馬車賃を貯蓄させたりしました。がゆその貯蓄したお金を、どう利用するかと申しますと、一つには、山陸の海嘯のお話を學校で聞いたとか、大變可哀さうな困てゐる人の事をきいたとかした時を機會に慈善なことに使はした事もございましたが、折角子供が勞力して貯蓄した金錢などから、その子供自身の趣味とか興味とかに適應して、その子自身面白いと思ふ事の爲に或は物の爲に使はせました。たゞへば幻燈とか青寫眞とか又玩具の材料の類毬をかゝる爲の色絲とか、舟を造る木材などを買はせたり致しました、今なら寫眞機械なども結構でございませう。

### 中等學校時代

も少し大きくなりまして小學校から中學、高等女學校位の年齢になりますと（主として女兒にさせましたが）ごく簡単な家計簿記法を教へて、文房費などの位、娛樂費がどの位と、なるべく子供に近い事がらから、子供の興味を起させる様に注意しながら、

ノートを一冊あたへて、まづ初は簡単な記入だけを致させました。も少しして高等女學二三年位からは家計簿記を全部つけさせます、それから四年以上五年になりますと一家の會計を全部あづけます。收入も、そつくり渡して現金であつたら銀行に預け、どれ丈を手元におき何の支出はどれ丈と云ふ實際の事を自分で致させます。簿記の方の事は主に女兒に致させましたが、男女を問はず中等學校の二年以上になりましたが、男女を問はず中等學校の二年以上になりましたら、一家の豫算をたてます時の相談會の一員として加へます。學資がいくらに修繕費がいくらと申すと兄が、今年は修學旅行が遠くなつたのでこれ／＼の旅費が要ると云ふ、ではお父さんの外套の新調を次へのばして置かうと云ふことになり、新調のはづの妹の靴が修繕だけで充分だと云ふので、では小さい兄さんがオバシウスが悪くなつたと申し出したからその方の費用にまわしませうとか夏近い時には姉が衣服の方が豫想外にはぶけたから、二週間毎年行く處を今年はもう十日だけのばしませうとか、お互に話し合ふ様に致させます、まあ豫算會を家庭内で公開したと云ふ様なわけで夕食後いつもより少しお菓子でも多く用意して一家の者が心持よく

語り合ふと云ふ様に致します、こゝには團欒のよろこびもあり又子供達が各自、身分不相應な事を考へないようになります。

この會合は大抵十二月のはじめと六月と一年に二回ほど開くよう以致しました。

經濟のことについてはこれ迄はあまり多く考へられてまゐりませんでしたが、一家の平和もその家の家計が能く行てるか否かが主なる原因をなし國としては戦争の本が多く經濟的の事であることから見れば國の平和世界の平和も國家の經濟にまつ處多く、かように子供の中から經濟思想を養はふとし實行させようとするのも其の根元は皆が平和に行きたいと云ふ願からであります。(文責在記卷)

煤掃は己が棚つる大工かな

(芭蕉)

## ○豫 告

十二年一月號から、萬國幼稚園協會案出の、「幼稚園要目」を掲載致します。

日々に新に、日々に創造の時代にある、我國現代の幼稚園界によき参考となるべき事を信じます。

智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい。住みにくさが高じると、安い所へ引き越しあくなる。どこへ越しても住みにくいと悟つた時、詩が生れて、畫が出来る。

人の世を作つたものは神でもなければ鬼でもない。矢張り向う三軒隣りにちらりとする唯の人である。唯の人が作た人の世が住みにくいからとて、越す國はあるまい、あれば人でなしの國へ行く計りだ。人でなしの國は人の世よりもなほすみにくからう。住みにくき世から、住みにくき煩ひを引き抜いて、有難い世界をまのあたりに寫すのが詩である、畫である。あるは音樂と彫刻である。こまかに云へば寫さないでもよい。唯まのあたりに見れば、そこに詩も生き歌も涌く。(呻枕より)

# 二葉保育園に於ける廢物利用

記 者

曰く勤勉節約曰く消費節約曰く節約デー、經濟思想の發達につれ節約の宣傳は近時著しく其の聲を大きくしてまゐりました、之を幼兒には解らないとか幼兒だからいらない事だとか云て見のがしてゐて善いのでございませうか、善し惡しは問はず既に前々から保育の實際に廢物利用を實行して居られる二葉保育園を訪れて大に感ずる處がございました。

○  
普通幼稚園の主なる消耗品として、經濟上重きを爲して居る保育(手技)材料が、此處では殆ど廢物利用に依てせられてある。

貼紙臺紙、縫取臺紙等は特に分厚な高價な紙を使ふ處を呉服の厚紙、繪はがき、入場券、又厚い紙で出来たプログラム、外國雑誌のしつかりした紙質のものを用ひられてある。「古いのですが」とおしゃるのを無理に見せて頂いた中に古葉書の裏を墨でぬりつぶし、其處へ三錢切手の中の圓だけ切り抜いたもの

を提灯として貼たものも、外に新しい切手のまわりにある細い紙を貼り方の材料として、お家や、汽車が面白く作られたものがあつた。また布の細い裁ちくづは、年長児によつて結びつなげられ、それが又三あみにされて、繩飛びのひもや、汽車ひつ、お馬ごつこのひもになつて居る。これらは他人によつて既に造られてあるものや、新しい布をたゞ切た丈のものにくらべて、自分達で造たと云ふ親しみのある爲か比較的亂棒な子供達(勞働者の子女と云ふ點で)の群にも、ぞんざいな扱ひを受けてゐない。年長児の室で數人の群が坐て何か爲てゐるのを見るとこれは洋服の裁ちくづの小さい破片を、チヨキチヨキとぎざんでゐる。「近頃服の裁ちはぢを頂きましたので剪紙の代りに致して居ります」との御説明であつた、なほ此小さい手によつてきざまれたこまかいくづは綿の代用として乳兒部の赤ちゃんのお布團になつてゐる。その布團のかわも裁ちくづの大きさ

いのを選んで保母の方々が贅念にはぎ合されたものである。「普請場からあつめて頂いたのです」と仰云

る木片で恩物積木では出来ない複雑なおもしろい、

思ひ思ひの建築が建てられたりくづされたりして居る。「お芋の御飯にしませう」といふ先生のお聲と一處に可愛いたくさんの足音がローカにするので、とみると大きい竹籠に薩摩芋を入れて小さい人達が皆で先生の後からかづいて来る。うすべりを敷いて圓く坐てまな板と皮むきと鉗釘を先生が持て来られる。と代り番に順に皮むきや大きい片を小さく切る事をしてゐる。「お芋の御飯だね」と嬉しさうな笑顔と笑顔が交はされる。教會から感謝祭の野菜を頂きましたから」と保母の方の御説明であつた。

小菊やコスモスが思ひのまゝに咲き満ちた植込の低い垣根から少し隔つた處で二三人の男兒の群が、汚ない粘土をこねてゐる。「自由遊に粘土をお使はせになりますか」と伺へば、「否え、粘土と云て特別に與へるのではありませんが、此處の地質が粘土である爲に子供達は自分で材料を掘り出してあゝして遊びます」とお答に見ると、一人の男の子が棒きれで一生懸命地面を掘つてゐる。「出来たよお出で」掘り出

された粘土は子供同士で分けられて自然と粘土製作が行はれてゐる。

○

なほ同園では、都市の發達や住民移動の關係から數年前に比して收容兒數の減じた爲に其の園舎の一部を改築して父なくして路頭に迷ふ母子の爲に「母の家」と云ふのを設計せられ本年四月から實施せら

れてゐる。

一間の廊下を隔てゝ兩側に四疊半が四間と六疊が一間づゝあり、一室毎に押入れ水流したゝきの土間一疊が附屬してゐる。一室一戸になつて居り水道は共用（母の家の中だけで）で電氣瓦斯等のこりなく整てゐる。同園徳永氏は語らる「母の家はあながち細民には限りません、夫が海外へ出てそれきり音信も絶え消息もしつれど云て今まで働いた事もなく急に母と子丈になつて途方にくれる者又は月末になつて收入の全部を持たまゝ夫が行方知れずになり老人や子供をつれて家は追はれるし行く處がない」と云て俄に働くとしてもその道もわからず女一人の腕で困つてゐる母等で、此近くに住んでゐるのではなくともそれからそれへと人傳てやら又社會局あたりのお世

話で入れる事もあります。それらの母達にそれぞれ職を探して就職致しませば留守の間は幼兒乳兒は勿論本園であづかります。母達の職業は種々でござりますが病院の繃帶洗、派出婦、庭掃除、小便等で針を持てますものは家で人仕事をしたり、傍らミシンを習つたり編物をしたりするのもございます。唯今は一室だけ空いて居ります。全部で九家族二十人以上で皆職について外へ働きに出て居ります。職につきますまではこちらで當分世話を致しましてもその後は家質(三圓五十錢と四圓)を取る事に致して居ります」と。

一般幼稚園の對社會活動として爲さるべき多くの仕事の残されてある現在に、二葉保育園の園舎を活用せられてのこの「母の家」の事業は有益かつ有力なる第一歩である事を信じる。(一一、一五)

家庭用兒童劇として氏の研究せられしもの數番が十一月二十六日有樂座に於て上演された。  
クリスマス、お正月、と家庭的團欒の機會を目前にひかへての此新しき發表は喜んでむかへられた。なほこの試演前後三回に渡て同氏の、「家庭教育と文藝」と云ふ題目の下に兒童劇の歴史、扱ひ方等に就ての講演が早稻田大學講室に於て催された。  
聽講者は婦人を主とし、母姊、學生、教師等多くあつた。

家庭の中にも火鉢の灰をかきならしてゐる素晴しいレオナルドがある。子守唄をうたひお伽噺をきかしてゐる素晴しいゲーゲがゐる。其暖かな涙で、實踐理性の何物であるかを知らしてゐる素晴しいカントがある。(婦人解放よりの解放より)

## ○坪内逍遙氏の家庭兒童劇

## 異常兒の身體的特徵に就て (つゝき)

東京高師教授 文學士 寺 澤 嚴 男

(三)耳殼。次には耳の畸形が少なくあります。

先日も私は、低能兒を收容して居る或學校の生徒に、此耳の畸形が少くないのを見出しました。それには色々あつて、下の耳たぶが、そげた様に無いものもあり、全體として非常に形の小さいのもあり、耳殼の襞が明かならず從つて凸凹が殆んど無くて扁平に近いものもあり、普通のものよりも耳殼の襞の著しく巻き込めるものもあり、或は全體の形の圓形に近いものもあり、一方の端の著しく突出せる如きものもあり、又左右の耳の形の不相稱なるものなどもあつて、千差萬別と申してもよろしい程であります。

(四)下顎。低能兒などの中には、下顎が前方に突き出て居るのが御座います。

(五)歯牙。歯の發達の不充分なもの、歯列の不整なもの、上顎歯列と下顎歯列との著しく喰ひ違つて居るものなどがあります。殊に例の有名な、ハツ

チソソソソ氏の歯とを持つて居るものも往々あります。ハツチソソソソ氏の歯と云ふのは遺傳微毒を持つて居る子供に見受けられる特徴であります。門歯殊に上顎の門歯の下端が半月状に凹んで居るのを云ふので、それのみでなくその下端に截痕があつたり、二つの門歯の間が相隔つて居たり、門歯の縦徑が短かつたりすることもあるのであります。又は遺傳微毒の特徴であります。遺傳微毒の子供には低能や白痴が多いから、從て時には此種の歯が是等の児童中に發見せらるゝことがあるのであります。

(六)其他の畸形。其他指趾の數の多きもの、或は指趾の癒著せるもの、或は指趾中の或ものが特に短きもの、顔の左右不相稱なるもの、脊髓披裂のあるもの、口蓋の畸形なるもの、猶其外にも身體の種々の部分に色々の畸形が伴ふことが少くありません。然しそれ等の畸形其物だけからは、勿論低能兒であるかないかを直に結論することは出來ません。

(七)循環器。低能兒は、血液の循環が旺盛ならず從て新陳代謝作用が低く手足などの冷たいものが多様であります。心臓の器質的疾患も比較的低能兒に多く、從て又脈搏の不整なるものも少くあります。

(八)生殖器。低能兒の女子になると月經の不順なるものが少くありません、即ち或場合には月經が無かつたり、或は順調に来なかつたり、若しくは非常に後れ勝ちであると云ふやうなのが少くありません、生殖器の發育不全即ち陰莖或は子宮などの普通のよりも一層小さきもの、其他種々なる生殖器の畸形がございます。

それから低能兒に現るゝ身體的伴隨現象とも云ひ得るが、しかしそれよりも寧ろ其子供をして見懸けの低能兒たらしむる主要なる原因となる所のものは、感覺器官或は呼吸器官等に来る缺陷であります。即ち感覺器官と云ふのは主として視器及び聽器の缺陷であり、呼吸器官と云ふのは上氣道に来る種種の障礙、即ち鼻腔に於ける慢性肥厚性鼻炎、鼻茸、又は咽頭に於ける腺様增殖症、慢性扁桃腺肥大等であります。

(九)眼。視器の障礙としては近視亂視等があります。是等の障礙は、經驗修得の上に大なる障礙となる點より云つても又、物を注視しようとする際に起る異常の緊張努力等の爲に神經力を普通の人よりも使ひ過ぎるご云ふ點から云つても、多少は其智的發達を障礙する原因となります。又眼球震盪症と云ふのがあります。之は眼球が時々ピクピクと左右に動くのであります。特に物を見詰めさせるご其震顫が著しくあらはれるのを申します。之は近視亂視などの場合とは違つて、それが爲めに智能の發達を阻害して低能の觀を呈せしむる原因となると云ふよりも、私の今迄觀察した所によりますと、どうも神經過敏症の兒童或は、どこか神經系統に障礙がある子供に此現象を見ることが少くないやうに思はれます。其他斜視なども往々見受けますが、之は低能兒ならざる者にも隨分ありますから、低能兒と今までの關係がないらしく思はれます。然し此斜視も、どちらかと云へば何か他にも神經系統に障礙がある子供に比較的多い様に思はれます。

(十)聽覺。次に聽器の故障であります。が聾瘡

又は難聽兒等が即ち之に屬しまする、それ等の原因が何であるに拘はらず、是等は兒童の智能發達の上に大なる障礙となり、従つて彼等をして見懸けの低能兒たらしめることが少くありません、然し又生來の低能兒にも、此缺陷が比較的多く伴つて居る様に思はれます。

(十二) 上氣道に於ける疾患。鼻腔の疾病としての慢性肥厚性鼻炎とか、鼻茸とか、或は咽頭に於ける腺様増殖症とかは、勿論低能兒の變質的特徵と見做すべきものではあります、然し是等の疾患の著しい子供は、充分に鼻呼吸をなす事を防げられ、従て幾分中樞神經系統に於ける神經細胞の働きに不良なる影響を受け、之が爲めに多少智能の發達を防げらるゝと云ふことは、勿論有り得ることであります。又咽頭の兩側にある扁桃腺が、著しい慢性肥大を現して居るものを見ると云ふことは私にも二三例ございました。此場合は其肥大の爲めに其子供が低能兒となつたと云ふのではありませんが、此慢性扁桃腺肥大も亦幾分其精神の發達を障礙して居つたやうに見受けました。

次に神經系統の障碍が外部に現れて、それが兒童

の身體的特徵となつて居る場合も少くありません。それは第一には運動神經の主裁して居る筋肉運動の上に現はれ、第二には感覺の上に現れてまゐります。第一の筋肉運動に現れる方から申しますと、それが動作の上に、又種々の不自然なる運動に、或は運動麻痺の上に其他顔貌の表情に、又は言語運動の上等に現れてまゐります。次にそれを一つ々々申し述べて行きませう。

(十二) 動作。低能兒の筋肉運動は、多くの場合敏活でない爲めに其動作、舉動が遲鈍であり、拙劣であることが、一見直ちに氣附かれる程であります。次には運動神經の調節作用と申しまするか協調作用と申しまするか、即ち比較的細かな動作をするとき手足などの色々の筋肉が協同して働いて一つの目的を達する働きが、低能兒にはうまく出来ませぬ。從て其動作舉動が、甚だ不細工で見悪いのが常であります。之も此種類の子供が遊戯や手工などをしてゐる所を一寸見ても直ぐにわかる位であります。

(十三) 不自然なる運動。次に運動神經の禁止作用が不充分であり、注意を或る一事に集注することが出来がたいので、絶えず手足などが不安に不自然に

動いてゐるのをよく見受けます。手足或は其指などのみならず或は首とか眼球とか脣などが、絶えず定まる所なく不安な様にフラン、若しくはピク、と動いてゐる様なことが少なくあります。或は手指などを延ばさせて見ますると震顫を起すこともあります。又癲癇其他の場合に於けるが如く發作的痙攣となつて現はれることもあります。

(十四)運動の麻痺又は不全。前に反して運動神經の麻痺の爲めに片方の指とか手とかよく動かぬとか脚がよく動かぬとか云ふやうなのが少くあります。昔から涎くりは馬鹿な子供の一つの特徴の様に云はれて居りますが、之は脣や頬などの運動が思ふやうに動かないが爲に、涎が流れるまゝになつて居ることが其主なる原因であると或人は申して居ります。又膀胱括約筋の働きが緩いが爲めに、或は中樞神經から禁止作用が弱い爲めに、寢小便などが起りやすい。又運動神經に障礙があると共に、筋肉其物の發達も不良なる場合が多く、従つて此の二つの原因から握力などの甚だ弱いものが多くあります。

(十五)表情。次には顔貌の表情であります。表

情が甚だ乏して鈍くそして適切でないことも、低能児や白痴児の一つの特徴であります。之は一つは顔貌の表情筋を支配して居る運動神經の働きが活潑でないのにもよることは勿論であります。又一つには運動神經を働かしむる源泉であります感情や知識の發動が鈍いのにもよるのであります。

(十六)言語運動。低能児などの中には吃音其他言語運動に障礙があるものが少なくあります。

(十七)第二に感覚に關しては皮膚感覚殊に痛覺の甚だ鈍いものがあり、或は嗅覺味覺などの鈍いものも少くあります。聽覺視覺に關しては既に前に述べて置きました。

以上は、異常児特に低能児の身體的特徴に就て簡単に述べた次第であります。勿論之だけでは少しうまでもあり、又述べ方も甚だ亂雜でございましが、それは又他日補ふこと、致しませう。

時代を動かすものは主義ではない個性だ。

(ワイルド)

# おはなし

幼稚園保育師 新城よし子

## いたづら鳥

鳥の勘三郎は綺麗な羽と美しい聲の持主です。

毎日高い枝の上であつちこつち飛び乍ら自慢

に、うたつたり、飛んだりして居ります。

けれ共それは／＼いたづら者です。

三毛猫が日當りのいゝ縁側に居りました。その中

いゝ氣持になつてたう／＼眠つてしまひましたのに勘三郎は、手水鉢のひしやくに水を一ぱい入れて、脊中から、ザアとかけました。猫がびつくり、ニヤオーンと恨めしそうに、逃げて行く鳥をにらみました。

お池の金魚が、綺麗な水の中で泳いて居ます。光子さんにいたゞいた圓い歯をバクリと飲み込まうと思ふ間に勘三郎は嘴でヒヨイとつてしまつて、赤い金魚の鱗をつつかうとしたので大急ぎで藻の間にかくれました。

梟が此の頃少し右の眼が痛むので、目の玉を綺麗に洗つて屋根にほして置いたのを勘三郎は見つけて轉がして、地べたに落して少しこはしてしまひました。

雀が皆で一生懸命力を入れてチユツ／＼と、うたつて居るのに勘三郎は態と調子の外れた聲を出して邪魔をするので、どうしてもうたはれません。

それで皆がもう勘三郎を憎らしがつて、かたき打ちをしようと思ふのですが、如何していゝのか解りませぬ。皆で度々ソーツと勘三郎に見つからない様に、相談を始めましたが皆勘三郎にはかなはないものばかりです。漸く梟が引うけて呉れました。

或る月のいゝ晩に疲れた勘三郎はグウ／＼眠つて居りました、梟は持つて來た墨の壺の中に刷毛を入れて勘三郎の羽根を塗り始めました。鳥はびつくり一生懸命誰だ／＼とおこりますけれど共夜ですから眼が見えません、其の中墨で塗られた體が冷くて、夜

風にあたりすつかり風邪をひいてしまひました。

翌朝起きて見たら、體は真黒、そして風邪で咽喉を痛めて、今迄の様にいゝ聲が出なくなりやつとカア／＼といふだけです。

たう／＼鳥は真黒／＼になりました。

一一、一一、六一

お猿さん

山で遊んで居たお猿がすつかり道を間違へて、人の住んで居る町の方に来てしまひました。

是は大變、早くお山に歸らうと思ふのですが、どうしても道が解りません。それに、大變に元氣のよい、面白い猿でしたから、平氣でずん／＼町の方に来てしまひました。

自分のまはりを通る人達は皆著物を著て居ます。洋服や、袖の長い著物や、又は袴をはいたり、兎に角自分の様な裸は一人も居りません。毛の一ぱい生えて居る體を見まはして、さすがに少しきまりが悪くなり、丁度洋服屋が見つかりましたので、一著當世流行のハイカラなを作つて下さいと云ひましたが人と違つて尻尾を入れるところが無いので、別に細長いシツボのズボンをこしらえて貰ひました。

ところが道を通る洋服著た人は皆ステッキを持ち煙草をふかして居るので、棒を拾つて杖のつもりで歩き、前の人気が捨てた煙草の吹殻を拾ひ丁度來合せた電車に乗りました。車掌に叱られて煙草を大急ぎでポケットに入れたので大事の洋服を少しこがしてしまひました。

その中隣の小僧さんが飛び降りしたので、猿も今度は失敗せずに、それは／＼上手にとび下り致しました。

段々と歩いて居る中に猿の大好きな小さい坊ちゃんやお嬢さん方が可愛い、洋服を著てバスケットを持つ幼稚園にいらつしやいます。つい面白くなつて一緒にはいつてしまひました。お子さんは大喜び、猿もブランコや圓木に乘つたり、又皆さんのが遊戯をなさる中にはいつたりしました。猿は眞似が上手ですから、ちつとも知らないのですけれど先生のピアノに合せてなか／＼お上手に致します。

皆さんをお別れしてから今度は上野に参り、博覧會を見ようと思つたのですが、餘り方々歩いたのですつかり疲れてしまひましたので少し静かな木のかげに休まうと思つて段々と奥の方に来てしまひまし

た。一寸氣がついて見ると、何だか鳥が澤山に居て、その中お仲間の猿が澤山に騒いで居る處に来ました。

どんなに／＼嬉しかつたでせう。今迄入ばかり見て居たところになつかしい猿がキヤツ／＼と遊んで居るのですもの、たう／＼動物園の猿の中間に入れて貰ひ一緒に面白く遊ぶ様になりました。

大正、一一、五、三〇、作。

### 不思議な毬

春子さんは遠い／＼お國からいらつしやいました。叔母様に綺麗な絲で卷いた大きな毬をいたゞきました。幼稚園から歸りますと皆様に御挨拶をしてお菓子をいたゞきそれからすぐに日當りのよいお座敷の縁側に坐つて毬をつき始めました。するといつもの軽い毬と違つて少し重い様です、それに何だかコトコトといふ音も聞えます。變に思ひ乍ら一つポンとつくとまあ不思議、どこから出たのか、綺麗な洋服が出来ました。又ポンとつくと靴下、それからポンポン／＼／＼ついて居る中に帽子に外套、赤い靴、襟巻迄そこにズラリと並びました。

何と云ふ不思議な事でせう、その中に、そこに竝

んで居る洋服や外套と同じものを著て、同じ靴をはいて居る小さい／＼人形がピヨンと出て来て、春子さんにおちぎをして、

「これを皆春子さんにさし上げませう、このお靴をおはきなさい」

可愛いゝ聲でかう云つたかと思ふとビヨン／＼とダンスをし乍ら縁側から庭へ、庭から門へ、門から外へと行つてしまひました。あつけにとられた春子さんはすつかり見されてしまつて、もつと人形と色々話すればよかつたのにと思つたのですが氣がついた時はもう何も居りません。

兎に角人形の云ふまゝに、靴下をはき洋服を著帽子をかぶつて赤い靴をはきました、するとまあ大變俄に體が軽くなつたかと思ふとお家の中に坐つて居られません。自然に足が地につかず、フワ／＼と體が動きます。縁側から座敷へ、茶の間へ、玄關へ、門へ道へ、町へ、たゞフワ／＼と、風船の様に體が動いてゆきます。電車も自動車も自轉車皆春子さんと駆つこして居る様です。賑やかな所、寂しいところ、たゞ／＼飛んで行きますと、段々お家がまばらになり煙が見えます。稻がみのつて居ます。柿が

おいしそうに熟してゐます、遠くの方から汽車が来ます、田舎に來たのです。

春子さんはすつかり疲れました。小川のほどりにしばらく休んで居りますと小さい流れが小唄をうたひ乍ら春子さんのそばを通つて行きます。やがてその川の中から前の小さい人形が出て来て、おいしいサンドウキツチと赤い林檎をくれました。それを食べますと又元氣が出ました。そして自然に體が軽くなります。田舎道から段々賑かな町へ、又自動車、電車が走つて居ます。やがて元來た道に來たかと思ふと、お家の御門へ、門から玄關へ茶の間へ、たうたうお家に歸りました。するとまあ、俄に、體が重くなつた様です。氣がついて見ると、いつも著て居る著物になつて居ります。

お茶の間には、お夕飯の支度が、ちやんと出來て電燈があかるくお室をてらして居りました。

一一、一二、二二

動物達が野原の眞中の一軒家に多勢一緒に棲んで居ました。皆でそれぐ仕事があつて、今日は狸の御飯炊き、明日は鼠の御使番、狐や狸や猿は折々外

から、おいしい御馳走を持つて來たり、まづく皆仲よく暮しては居りますが折々喧嘩が始ります。いつも狐や狸は餘計に食べてしまつたり、折々はお掃除のおするをしたり、そして猫や鶏達をこき使つて使にやつたり臺所の後かたづけをさせたりして居ます。

或る日の夕方狐が

「おい／＼お前達は今夜は、人參のしつぼが澤山にあるからあれを煮てお上りよ、そして食べたらすぐに寝てしまふんですよ、私達は大事な相談があるので、なか／＼寝るどころぢやない、あゝ忙しい／＼。」

かう皆にいひつけて食堂にはいつてしまつたのです。猫、鶏、鼠、犬等は仕方がないので、人參のしつぼで、こそ／＼とお夕飯をいたゞき、銘々の寝床に引込みました。けれどいつも一緒に御飯を食べるのに今夜だけ別だと思ふと氣になつて仕方がありません。それに、どうやら、いゝ匂や折々瀬戸物の音なんかするのです。たう／＼猫はぬき足で食堂の入口に参りました。犬も鼠も鶏も、皆が一度に小さい鍵の穴から覗かうとして鉢合せしてびっくりしまし

た。

鼠「どうも今日はチウッとおかしい」

猫「ニヤンだらう」

犬「ワンとおどかそうか」

鶏「それがこけつこう」

と又ソーツと臺所に行きました。

食堂では今日は小さいもの達が居ないので誠に結構さあ／＼思ひきり食べようぢやないか、と、テーブルの上には、スープや肉や、お菓子、果物などが一ぱい並んでゐます。その中狼が怖い／＼お話を致しますので、皆始めは面白がつて居たのですが段々怖くなつてもうびく／＼して小さくなり乍らその怖い話を聞いて居る最中どーんと扉があいて、

チウ、ワン・ニヤー、コケコツコー

と飛びこんだものがあります。それを見ると可成り大きな怪物で、色々な足があり、恐ろしい道具を持つて居る様です。何しろ怖い／＼と思つて居るところですからよくも見もしないで、狐達が飛び出せうとすると、鼠があはてゝ居る皆の足をちよい／＼かぢるので大まご／＼窓からとび出してガラスでいやと云ふ程顔をうつたり、扉に突き當つたり鉢合せ

とう／＼暮になりました。

淋しい人間が、淋しい事を氣がつかなくなるほど、あわただしさが、あつちからも、こつちからも、よせて來ます。

緊張した人々の顔に、つかれた人の額に、嬉しさうな笑顔に、裸になつた街樹の幹に、華やかな店頭の光があびせられます。

風は山から下りて來ました。成人はち、み上つてふるゑ、子供は木の葉をとばしてもらつて喜びます。お正月の來るのが嬉しいくて、大きくなるのが嬉しいくて、にぎやかなのが嬉しいくて、嬉しい事が一ぱいではちきれさうになつてゐる私達の子供達は幸です。  
チウリンゲンの森の子供達はどんなにして居るでせう。明るい新年が彼等の家をも訪れるように祈ります。（一一、一二）

複雑な知識は、虚偽の徵候である。

眞理は常に、單純である。

（トルストイ）

をしたり、兎に角皆逃げてしまひました。犬達は大喜びかぶつて居た毛布をすてゝ、テーブルの上に並んで居る御馳走を皆でいただきました。

一一、一一、一三

# 託児所の教育的意義

三 好 豊 太 郎

## 一、緒 言

社會の制度の中には其發生が極めて複雜なるものが多いのです。教育の中には殊に此種のものが少くないのであつて政治的なもの社會的なもの經濟的なものゝ其々が一つの教育制度の中に織り込まれて居るを見るのです。例へば教育行政の如きは其政治的のものゝ現れであり、學校内の祝賀の儀式は社會的な例の一つであり學校内部の購買組合等は經濟的なものゝ例でせう。之には尙更多多くの證明も要ることゝ思はれますが、多數の人に賛成され得ることと思ひます。茲に述べようとする託児所に就いても、茲の原理を以て見ますと容易に了解さるものであつて、純然たる教育制度の延長とも見るべき幼稚園と、尙社會政策の延長とも見るべき託児所との間に存する差異は明白にさることゝ思はれるのです。現在に於ける託児所は尙社會政策的の對象となつ

て居ることが多く、未だ判然とした教育的形態を備へて居ないのですが、是は蓋し託児所事業の尙過渡時代に逍遙せるの致すところで決して長くかかる低徊時代にあるものではないでせう。それが眞に教育的に自覺し、幼稚園よりも更に個性に對する基礎教育としての眞の價値を見出さるゝことが次第に現はれて来るに相異ない。教育の進歩が恰も政治に社會に經濟に諸種の要素を取り入れたと同じく一つの社會事業をも取り入れるに至ることは、教育の進化の上からも考へられねばならぬことであるからであります。而して然かも上の様な要素を取り入れて其れを教育化したと同じく、矢張り託児所も教育化せられねばなりません。否より多く教育化されねばならなくなるでせう。

## 二、東京市内外の託児所

私は託児所教育を如何にすべきやと云ふ問題に入るに先だちて、東京市内外の託児所の數を瞥見する

に最近の調査に依れば東京市内に二十個所児童千四百人市外に十七個所児童千五〇人を數ふるの有様であつて、市の内外を合せると三十七ヶ所約二千五百人の數であります。其等は殆んど宗教家、特志家、工場主等の行ふもので公立のものとしては僅かに江東橋に一ヶ所あるのみであります。之を幼稚園と比較するど幼稚園は大正八年度の統計に依れば公立の一、四〇〇人私立の四、七一八人といふ比較に對して大きな相異と云はねばなりません。斯様に大多數の託児所が私立の經營になることは、大いに注意を要するものであらうと思はれます。一體公立にする種々の悪い方面も出來ますが同時に組織や設備に就いて割合に大規模にやることが出來ます現在の私立託児所に於ては努て此弊害を避け、互に意見を交換し、各自の経験を尊重する様な態度を進めて行きたいと思ひます。此の事は特に誕生して日の浅いかかる事業に從事する方々の特に注意を乞ひたいと思ふ點であります。

### (三) 託児所児童の特長

託児所の児童は概ね労働者の子女であります。幼稚園の様に上中流の家庭の子女を扱ふものとは非常

に違つて居ります。此點は特に注意を要する點であつて、生れながらにして重い遺傳や環境の壓迫の爲に心身共に不健全なるものが多いであります。私は東京市の不良少年の研究を唯今進めて居りますが斯様な貧民の子弟には殊に不良少年とする素質が多いのであります。體の種々な故障例へば眼疾、咽喉病、消化器病等が其々精神に倦怠を起させ仕事を厭はせ、怠惰浮浪の悪癖を養成することゝする譯であります。井の頭感化院生は近眼なものが約八割を占めて居ります。是等の身體の障礙が不良少年の素地を作ることは誠に明かな事でありますから、彼等は潛在性不良少年の名を與へても良いと思ひます而かも其の原因は遠く乳幼兒時の時に萌して居るものでありますから此時代の教育特に労働者子女の教育には此方面を忽にすることが出来ないことゝ思はれるのであります。

精神的に見ましても兩親が充分に陶冶されない心情と生活に脅かさるゝ不安とを絶えず感じて居る彼等の少年は意志的にも感情的にも理智的にも種々なる缺陷あることを免れませんが殊に著しいものは感情の淘汰と思ひます。荒んだ性質の所有者に例へ豊

富な理知の背景があつて、其れは何によるものでせう。ドストエフスキイの小説「罪と罰」の中にラスコリニコフが高利貸の婆さんを殺して、煩ひ惱んで居る處があります。誠に彼は露西亞の大學生生活が興へた理性偏重の大きな犠牲となつたものであります。

以上の身體的・精神的兩方面の愛育が極めて重要なものであると思ひます。遊戯や唱歌の教授に際して特に此邊の酌量をせられるのを望みます。

#### (四) 託児所の教育

上の様な譯で託児所では特に養護が重要な教育作業になつて居りますが、其理由は更に託児所児童の年齢の少いことからも来て居ります東京市では場所に依つて幼稚園を兼ねるものもあつて、年齢も七歳位まで收容するものもあるが多くは四、五歳の幼稚園以下の小兒を收容するのであります。かかる小さな子供は尙ほ理智が進まないから教授に至つては施すべきものが極めて單純幼稚でなければならない。

而し此言を以て、すぐに託児所の教育的方面を閑却されることが往々であるが、意志とか感情とかの人として教育は實に此の二葉の間に養はれて多いことを痛切に感せられるのであります。曾て西洋人が子

供が生れてから一ヶ年の間に受くる無言の教育は實に大學教育よりも優つて大きなものであるといふのを聞いたことがあります。誠にかゝることが普通に行はるゝことであらうと思はれます。

私が託児所を視察して居る時に遊戯を見て居ましたら數人の子供が「叔父さん抱っこして下さい」といつて集つて來た處があつたのです。かゝることは他所では一寸見當らない所であります。種々と考へを異にせらるゝ方もありませうが、託児所教育の根本精神は人格的に科學的に眼覺めた家庭の職能を如實に現はすことにあるらうと思ひます。そうすれば來客が來た時に自由にフランクに「抱っこ」を要求する位のことは寧ろ兎もするゝ人間に對して暗い感じをさせる子供に勧むべきことではなからうかと思はれます。特に濫用に陥らない範圍に於いて、子供の家庭的な訓練の立場からよく晴こんで行きたいものと思ひます。

此の小さな白紙の様な魂に印されて行く嬢姆の微細な言語動作の一節一句が次第に其將來の大きな個性を作る基であることを考へると嬢姆の一舉手一投足の忽に出來ないことを感せらるゝこと、思ひます。

暗い性格の保姆には暗い子の心が次第に結ばれて行くことは、當然のことゝいはねばなりません。保姆の方々が見えないところに光る精神の寶はいつか子供の上に傳はつて其れはやがて結ばれて、美しい果實を作ることであります。かういふ人間の完成の上に保姆がなさるゝ努力は誠に尊い藝術でなければなりません。ロダンやルノアールの書いた素描を見ますと其荒く描いた一見無造作な畫の中に誠に小さな苦心の窺はれるものがあります。託児所の教育はその一つ一つの魂の單なる素描であります然かも其れは偉大なる素描であります。極めて零細な注意と觀察とを以つて、此事に當らねばならぬことの意義を判然と考へらるゝ次第であります。

#### (五) 記児所と家庭

託児所の特長は更に家庭との接觸の多いことあります。朝に母親が来て夕に労働を終へて受取りに来る。此間には幼稚園児が女中と伴はれて出入りするのとは大なる相異である。託児所がかくして父兄と接觸の多いことは、託児所教育が又家庭を通じての教育に貢献するところ大きなものであります。教育が家庭と接觸することは如何なる良い方面があ

くことは、當然のことゝいはねばなりません。保姆の方々が見えないところに光る精神の寶はいつか子供の上に傳はつて其れはやがて結ばれて、美しい果實を作ることであります。かういふ人間の完成の上に保姆がなさるゝ努力は誠に尊い藝術でなければなりません。ロダンやルノアールの書いた素描を見ますと其荒く描いた一見無造作な畫の中に誠に小さな苦心の窺はれるものがあります。託児所の教育はその一つ一つの魂の單なる素描であります然かも其

れは偉大なる素描であります。極めて零細な注意と觀察とを以つて、此事に當らねばならぬことの意義を判然と考へらるゝ次第であります。

東京市内にも兒童を通じての社會教化に盡力して居らるゝ方々があるのであるが、此點は幼稚園教育と學校教育よりも更に有力なるものである。斯様にして家庭に保姆の熱誠が達すれば、それが兒童に對する影響は更に大きなものであつて、事業の一つ一つに自分の生命の躍るのを感じらるゝことゝ思ひます。マルボーリ氏が佛蘭西に託児所を始めたのは、一八四四年今から七十餘年前であります。その後託児所は各所に設けられ各國ともに其恩澤を蒙つて居ります私どもは託児所教育に就いて更に大に経験し視察し考究して託児所事業の根柢ある發達を望まねばなりません。私は託児所保姆の各位に熱誠なる努力を乞ふものであります。

## 消費展を見る

K.

H.

文部省主催の消費經濟展覽會が去月十二日からお茶の水の博物館内で開かれた。二十五日までの開期が二十九日まで延期せられ、毎日午後四時閉會のはづが二十一日以後は「毎夜九時まで開場」と大きく貼紙せられ、日毎の入場人員數は一萬を前後し雨天でも千七百をかぞへる程の盛況であつた。

衣服裝身具等の消費經濟參考品出品三十六目ある中で「子供の」と云ふのは八目で、特に「子供の」と云はないでも家庭と云ふ字の中に子供を含ませたものも入れるとざつと出品の三分の一ほどであつた、殆ど是等出品の全部が聲を揃へて云て居る所は在來の服装が經濟的、衛生的兩方面から不利であると云ふ事それの改良法も種々考案發表されてあるが、それは純洋服へ」との傾向である。中には成人一枚の裾まわしで造た子供服など云ふのもあつた、お父さんのズボンやお姉さんの袴から、一寸の手間と工夫で

簡単な子供服が自由に造られる、ほんの少しの工夫で、利用の方法は丁度球根の皮をむくように、それからそれへと生れるものだと思た。農商務省の廣幅織の和服は布の經濟ばかりでなく仕立の時間をも經濟に用ひられてあるのが特點であつた。

子供の衣服がこんなに種々に考へられてゐるのに、食物の方になると「子供の爲の」といふ事はある考へてないのか發表されてなかつた。中に樺田十次郎氏の出品せられた「間食に關する圖表及見本」と榮養研究所出品の「標準食糧及學童辨當數例見本」とは私の目を引つた。前者の表の中五歳の子供の間食實例の中の一つを記すと次の様であつた。

午前十時

午後三時

みかん

コーヒー、紅茶。

鹽せんべい

もちがし。

又後者の「子供の榮養改善十則」は臺所などへ、貼て置くのによいと思って手帳にとめたのを左に記せ

ば。

一、食物の不合理的な節約を強ふること

二、無用の干涉を加へ病人扱にするここと

三、成長に必要な栄養分の配合を考えること

四、食物の好き嫌ひを矯正せざること

五、大人の栄養法をそのまま行ふこと

六、乳兒、幼兒學齡兒青年の栄養法に差別あるを知らざること

七、食物の新鮮度に注意せざること

八、間食の用ひ方を知らざること

九、嗜好品に特別の注意を拂はざること

十、不消化分の利用よろしきを得ざること

都會の子供は其他の子供に比べて體格が悪いと云はれ都會の中でも繁華な部分に住む子供達はさうでない子供達に比べて體格が劣るを云ふ、原因を尋ねれば種々あらうけれど、子供の食物とか栄養とかに就いて留意する人があまり少ないような感じがした。飲食物の消費經濟に關する参考品中「子供の」をしてあげ得るものは以上の二つきりであった。

住宅家具等の消費經濟参考品の中では「既成住宅の改良案」の中に縁側を一間幅にひろげガラス戸を

はめカーテンを用ひて明るい子供部屋が設計されてあつた。

衣食住のどれにも屬さないで最も直接子供に親しい玩具の廢物利用が會場の隅の方にあつたのを見つけた。大分面白ものが數多あつめられてあつた。覺えてゐるのを擧げてみると。小町絲の絲巻で造た汽車、ミルクの空き罐に模様の紙を貼り手をつけてバケツにしたもの、古葉書を繪の具でそめて作た風車、小學時代の子供位のカラーで作たデン／＼太鼓、マツチの空箱の中に配置されたお座敷。同じくマツチの空箱を重ね千代紙をはつて小さい用筆筒が出来、卵の殻に白い綿をつけたり赤い尾をつけたりして蛇鳥や金魚を造たもの等で家庭でなら造るのにも持て遊ぶのにも丁度良いものが多かつた。

特別にお貸し下された、皇太子殿下、初等科時代の御用品——短かくなつた鷲印鉛筆や、小さいお手でよく御整理遊ばされたといふ雜記帳の類は、宣傳宣傳でさわがしい氣分の充ちた場内で無言の教へを多くの人の胸に刻んだ事であつた。

館外には廉賣、即賣あり足をとめる人が多かつた。

## てつぼう巻のおちさん

短い日が惜しげもなく暮れて行た。神田のとある裏通りの四辻に角力の四本柱を可愛くした様な家鑑店を前におちさんは小供達にかこまれてゐた。「おちさんあたいにそれおくね、ね、おちさん」「おちさんむきやすいやつおくれ」「おちさんおちさん今度あたいの番だよ三枚」「おちさん頂戴、一枚」おちさんなりまいてたのんでゐる聲は數の割にちつともさばがしくなかつた。どの聲にも「ふん」といふ言葉を態度にだけ出して沈黙のまゝおちさんは手だけを忙しさうに動かしてゐた。うどん粉を溶いた様なと蜜の様なものをまざてピカノ／＼に光た眞鑑の板の上へのせ灰ならこのきざ／＼のない様のものですうつと平にして瓢箪の型をちよん／＼とその上へ凹状におしつけ一つの瓢箪が一枚の型になる様に筋を入れて切た。無言の儘おちさんはこつちへ三枚あつちへ二枚と渡してやつた。前にある穴のあいた箱へ一錢銅貨や二錢銅貨五錢と云ふ様に小さな手から落された。「おちさんむけたから札ちようだい五枚」と云て出した手を見ると可愛い、瓢箪が五つ小さい手のひら一ぱいに乗てゐた。おちさんはそれをよくも見すにうすぎたない厚紙に「三枚」と赤く印で押してあるのと「一枚」と黒く押さつてゐるのとを渡した。それからおちさんはうどん粉の溶いたのと蜜をまざた様なものを今度は眞鑑の板の上で蒲鉾の様な形にして前方へ置いた次のは平にしてまたさつきの通り型をつけてはじめた。「おちさんさつきの七枚むいた子が鐵砲巻き頂戴つて」おちさんは「ふ」とあごで前方を指した友達の使に來た子は蒲鉾型のをもらつて歸て行た。長四角のおせんの様

なものゝまわりをかいて完全な瓢箪の形を七枚造り上げると鐵砲巻きの手先は注意深く動いて居た。「あらおちさん此處んとこが少しあけたわ」さう云ておせんをながめてゐる子に目もくばらずおちさんはだまつたまゝ大きくなづいた。おせんからおちさんの顔へと目をうつした子は「へへ」と嬉しさうにねんを押して其の先をつづけた。やがて二つの瓢箪が出来た。「おちさん一枚」何もかいてない汚い厚紙を一枚、おちさんは小さい木の箱から出してやつた。一枚の瓢箪を續げざまに造り上る事は子供達にはむづかしいらしかつた。又一度に七枚のおせんを貰ふ子もありなかつた、大抵二枚が三枚づゝをまんべんなくまわりの子達に渡してゐた。一人で七枚を一度に貰ふと多勢の子は待ち遠しい思ひしなければならなかつた。おちさんはそないふ子を後まわしにした。「カルメラの様なもの」とむいた片や(かく事を子供達はよくと云てゐた)むき損なつた瓢箪を食べる子が説明してくれた。片側だけ下されたカーキ色のノレン飛白よけの様なものが冷たい夕風を充分さげつてゐた。蠟燭の灯影がおちさんと子供達を物語のやうに照してゐた。

(一一・一五)

矛盾はそのまゝにして調和である。

(宗教と其心理より)

謹 告

獨逸フレーベル會寄附金  
募集

獨逸の現状がマルク相場の暴落によつて、如何に窮乏を極めて居るかは、諸賢のよく御承知のことあります。戦前我國の約五拾錢に相當した一マルクが。目下は僅に壹錢の價しかないのであります。その氣の毒なること言語に絶するのであります。これがために同國內のあらゆる方面に於ける事業、殊に文化的事業は、非常なる打撃を被つて居ります。茲に諸賢の御同情に訴へんとする獨逸フレーベル會も其の一つであります。私共は、言はれないと豫て同情に堪えなかつたのであります。先般、特に獨逸著名の教育者諸氏の連署を以て、同會が資力の逼迫によつて、其の古き名譽ある事業に支障を受けて居る實情を具し、其の援助を求めて來たに對し、更に其の同情を切に新たにしたのであります。同會の事業は幼稚園期兒童の教育と幸福の増進であります從つて、其の同情を求め來つたのも、特に我國の

兒童愛護者の粹を網羅して居るといつてよい處の、日本幼稚園協會と日本兒童學會との諸賢に對して、我等之志を一つにして、兒童のために思ひ、兒童のために盡力し、兒童を研究して居る此の獨逸フレーベル會のために援助するのはすなはち、間接に可憐なる獨逸兒童の幸福のためにすることでありまして、切に諸賢の兒童愛護のお心に訴へたいと思ふのであります。

大正十一年十一月

日本幼稚園協會  
日本兒童學會

規 定

- 一、御寄附金は十二月末日を締切りとすること
- 二、御寄附の金高は多少に拘はざること
- 三、御送金は兩會いづれにでも御都合のよろしき方に願ひたきこと
- 四、御送金の節は、「獨逸フレーベル會寄附金」の旨御明記下されたきこと
- 五、すべての御寄附金は、兩會責任者に於て取りまとめ、兩會の連名を以て、獨逸フレーベル會に贈ること
- 六、御寄附金に對しては、日本幼稚園協會取扱い分は「幼兒教育」誌上に、日本兒童學會取扱い分は「兒童研究」誌上に報告し、全部の御報告は兩誌上に於て申上ぐること。

# 共益商店新刊

水谷式夫先生著

幼兒オペラ

第一編 定價金八拾錢

雀の御宿  
兎と狸

水谷武夫先生著

幼兒オペラ

第二編 定價金八拾錢

(グリム原作)七つの小山羊  
兵隊遊び

水谷式夫先生著

略譜より本譜へ

定價金六拾錢

福井直秋先生著

ヘルプ・スト

單唱歌

定價金六拾五錢

送 料 六 錢

井上武士先生編

二部合唱曲集

定價金九拾錢

送 料 八 錢

水谷式夫先生著

對話唱歌

(第十三編寶槌  
第十四編花あらそひ)

定價金參拾五錢

送 料 四 錢

松島琴作曲

定價金參拾錢

童謡か

も め

送 料 武 錢

純然たるこどもさんのオペラです幼稚園小學校の御子さんにも容易にできる處本編は世界周知の名著「グリム」作のお伽噺に題をとりし名曲と最も新しき行進遊戯を載せたり

第一編の名作たるは既に社會の認る處

本編は世界周知の名著「グリム」作の

お伽噺に題をとりし名曲と最も新しき行

進遊戯を載せたり

略譜はやさしい本譜は「六ヶ敷い」とお

仰せになる方は本書を御覽なさい略譜

仰せになる方は本書を御覽なさい略譜

仰せになる方は本書を御覽なさい略譜

仰せになる方は本書を御覽なさい略譜

著者が自信ある作曲の發表です此頃自

井上武士先生が容易に歌はれる様に苦

心して編纂せられしもので四六倍判

い如何に本書の内容が充實せるかを

著者が自信ある作曲の發表です此頃自

井上武士先生が容易に歌はれる様に苦

心して編纂せられしもので四六倍判

い如何に本書の内容が充實せるかを

著者が自信ある作曲の發表です此頃自

井上武士先生が容易に歌はれる様に苦

心して編纂せられしもので四六倍判

○八五一京東 振替 店書社商益共 出版目録呈進 東松 芝町

# 共益商社書店新刊

水谷式夫先生著

幼兒オペラ 第一編

雀の御宿 兎と狸

水谷式夫先生著

略譜より本譜

定價金八拾錢  
送 料 八 錢

純然たるこどもさんのオペラです幼稚園小學校の御子さんにも容易にできるかはいい本書を是非御用意下さい

福井直秋先生著  
ヘルプス

定價金六拾五錢

著者が自信ある作曲の發表です此頃自稱作曲家がものした駄本と御比較下さい如何に本書の内容が充實せるかを

井上武士先生編  
二 部 合 唱 曲 集

定價金九拾錢

井上武士先生が容易に歌はれる様に苦心して編纂せられしものです四六倍判  
歌曲二十有五曲皆有名の傑作曲集です

水谷式夫先生著  
對話唱歌 第二集

定價金參拾五錢

いよ／＼第拾四編迄刊行いたしました  
本編は料を能狂言にこり其の爛熟せる  
内容は益々好評に全國に波及す

北村泰三先生著

定賈金參拾錢

著者が初めて公表せられし各曲です歌

小

送料貳錢

は土井晚翠先生の作

松島彝作曲

學習院の先生で女流作曲家の白眉であ

童謡  
九

る著者の會心の作です歌はおなじみの法月歌客先生の作みるからに美しい本

# 東京都女子師範學校

## 附屬幼稚園御考案

### ピヨンタロカルタ

が立派に出来ました

- ◎小冊子に説明と遊戯法が載せてあります
- ◎唱歌の樂譜も付いてゐます
- ◎形が大きくて紙が厚く繪入色刷です

小冊子の序文中に田中同校主事曰く

△……句といひ繪といひ頗るよく出來たので

△……思はず感嘆の聲を放つた譯である……

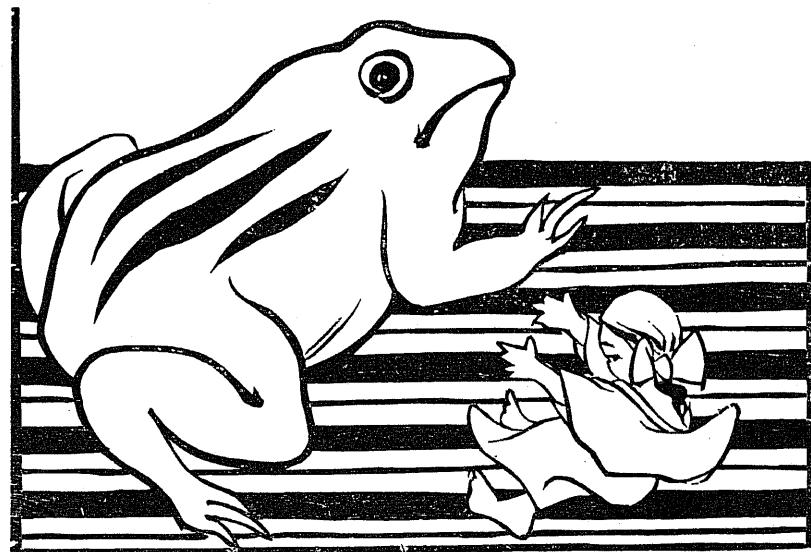
著者たる同校保母の緒言中の一句に

△……カルタが教育上少なからざる效果あるに係らず比較的重要視されなかつたのは其の内容及び表現法が幼兒の實生活に觸れない點があつたからでこのカルタは此の點に最も注意した……

發賣元

九段 東京

フレーベル館



明治三十四年一月二十八日第三種郵便物認可(毎月一回十五日發行)  
大正十二年十一月二十日發印  
大正十一年十二月二十五日發印  
行刷

印刷所

合資會社

林舍